

CDM(クリーン開発メカニズム)の活用による我が国省エネ技術の
中央アジア資源保有国への移転に伴う貿易・投資促進調査研究

(報告書の概要)

豊富なエネルギー資源を背景に今後の経済発展や工業化が期待されている中央アジアの資源保有国(カザフスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン)を対象とし、我が国の省エネ技術の移転およびCDM事業を活用した普及によって、資源の確保にもつなげながら我が国と中央アジア資源保有国との貿易・投資の促進を図る目的で調査研究を実施した。

カザフスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンの3ヶ国それぞれについて、以下の調査・検討を行った。

- ・エネルギー資源およびエネルギー消費実態についての調査
- ・非化石エネルギー導入に関する施策
- ・CDM/J I 事業への取り組みに関する政府の取組と体制の整備に関する調査
- ・現状のCDM/J I 案件およびCDM/J I 今後の事業の可能性についての調査
- ・我が国企業から見た3ヶ国のCDM/J I 事業についての評価をアンケート調査
- ・ウズベキスタンおよびカザフスタンを訪問し、CDM/J I 事業に係るDNA、環境省、工業省、関連研究機関、NGO等に対してヒアリングを実施
- ・各国毎の今後の課題とCDM/J I 事業促進のための提言を取りまとめ

(報告書の主要構成)

- (1) はじめに
- (2) 調査研究の目的
- (3) 調査研究の内容
- (4) 調査の実施方法および日程
- (5) 対象国の選定
- (6) カザフスタン調査結果(カザフスタンについてのエネルギー事情、CDM事業への取り組み、我が国企業の見方、CDM/J I 事業の可能性)
- (7) トルクメニスタン調査結果(トルクメニスタンについての同上)
- (8) ウズベキスタン調査結果(ウズベキスタンについての同上)
- (9) まとめ(課題、提言)

添付資料 (アンケート結果、出張面談録、調査委員会議事録、他)